



# 府民と共に 京都夢実現プラン

一人ひとりの夢や希望が全ての地域で実現できる京都府をめざして

京都府  
総合計画

## 将来構想

おおむね20年後に  
実現したい将来像

- ① 人とコミュニティを大切に作る共生の京都府
- ② 文化の力で新たな価値を創造する京都府
- ③ 豊かな産業を守り創造する京都府
- ④ 環境にやさしく安心・安全な京都府

### おおむね4年間で取り組む

#### 基本計画

##### 分野別基本施策

将来構想の実現に向けた分野ごとの具体的な方策

府民協働で取り組む  
きょうとチャレンジ

エリア構想

Pick up

#### 地域振興計画

山城・南丹・中丹・丹後の各地域の資源や特性を生かした地域振興策

### 府民協働で取り組むきょうとチャレンジ

#### 子育て環境日本一

2040年に全国平均並みの合計特殊出生率をめざし、行政、府民、地域、企業などあらゆる主体の総力を結集し、「子育て」の視点から社会を変革します。

Pick up

#### 府民躍動

人生100年時代を見据え、府民の誰もが生きがいを感じることでできる共生社会づくりを進めます。

Pick up

#### 文化創造

地域文化を大切にするとともに新しい文化が生まれ続け、地域に活力を生み出す社会づくりを、文化庁が本格移転する京都から進めます。

#### 新産業創造・成長

企業のスタートアップから成長、継承まで、イノベーションが起これ続ける最適な事業環境の創造を京都から進めます。

#### 災害・犯罪等からの安心・安全

災害や犯罪等から府民の命と財産を守るため、AI等の活用によりハード・ソフト一体となった最先端の危機管理・安心安全体制を構築します。



### 新納 麻意

平成24年度入庁  
平成24年4月 広報課  
平成28年4月 少子化対策課(現こども・青少年総合対策室)  
平成30年2月 産休・育児  
令和 2年4月 復職、こども・青少年総合対策室 母子保健係 現在

子育て  
環境  
日本一

## 「ここで、これからも子育てをしたい」と思える京都府に

イン事業を担当し、大学生を対象とした「仕事と子育ての両立体験インターンシップ事業」等を担当していました。

### 1番印象に残っている仕事は何ですか？

特定不妊治療を受けられる方への通院交通費助成制度の創設です。本制度のスタート(令和2年10月)にあたっては、制度内容の検討から要綱等の整備、現行システム

工夫し、周知する際には、その方々に届きやすいデザインや文言とするよう心がけています。これは、最初に配属になった広報課での経験が活かされていると思います。

### 休日や退庁後の過ごし方は？

2歳の息子がおり、退庁後は保育園のお迎えから寝かしつけまで、日々慌ただしく過ごしています。お迎えに行ったときの息子の笑顔や、お風呂や布団の中で嬉しそうにお喋りする様子を見る時がほんと落ち着く瞬間で、「明日も頑張ろう」とパワーをチャージできる時間でもあります。

### 現在の仕事を通じて、京都府をどのようにしていきたいですか？

これから子育てをしていく当事者でもあり、「ここで、これからも子育てをしたい」と思える京都府にしていきたいです。そのために、私生活の中での当事者としての気付きを、京都府の施策に生かせるよう工夫していきたいです。

### 京都府職員を志望した理由は？

多様な分野に携わることで、いつまでも新しい知識と経験を得て成長し続けられる点、そして、私が生まれ育った大好きな京都府とそこに住む方々のために働けるという点に魅力を感じて志望しました。

### 現在、担当されている業務について教えてください。

「子育て環境日本一」というと子育て支援だけと思われるかもしれませんが、その取組は多岐にわたっています。

現在、私は不妊に悩まれる方への支援を中心に、仕事と不妊治療の両立支援や育児と介護のダブルケアに悩まれる方へのサポート等を主に担当しています。

産休に入るまでの2年間は、ライフデザ

ムの改修、更に制度の広報周知等多くの作業が必要となり、上司や同僚のサポートを受けながら進めました。

今回の制度は、府民を幅広く対象とする全国で初めての取組で、ゼロから作り上げる必要がありました。申請窓口での対応や医療機関での証明をお願いする上でかなり細かい点まで検討し、Q&Aやチェックリストの形に工夫して整理しました。

制度が完成した際には、府民の方から問合せがあったり、「この制度ができて嬉しい」という声をいただいたときには、私なりに役に立てたと、嬉しく感じました。

### 仕事をする上で心がけていることは？

府民の方の目線に立つことです。制度や事業を作るときには、それを利用される対象の方にとって使いやすいものになるよう

京都府の  
子ども・子育て支援



文化  
創造

## 「次世代への継承」を支える仕事

### 現在、担当されている業務について教えてください。

全国高校生伝統文化フェスティバルの運営業務を担当しています。この事業は、次世代への伝統文化の継承、発展を目的として、日本の伝統文化に勤しむ全国の高校生が一堂に会して開催される文化事業です。

### 1番印象に残っている仕事は何ですか？

令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大の最中であり、フェスティバルの開催を取り止める案もありました。しかし、このイベントは、部活動が制限されている高校生の励みの場となり、目標とする場を提供するという意味においても開催する意義が大きいことから、十分な安全対策を講じた上でイベントを開催する決断に至りました。

魅力あるイベントの開催に向けて、様々な方面から意見を伺い、感染症対策を講じながら企画調整を進めていきました。

その中でも、今回からの新たな取組として、全国の高校生をオンラインでつなぎ、部活動の成果をYouTube ライブで配信することが決まりました。しかしながら、出演者は勿論、運営に携わるスタッフ全員にとって初めての試みであり、試行錯誤を繰り返しながらもなんとか無事終わることができ、関係者一同胸をなでおろすとともに、大きな達成感を味わうことができました。

コロナ禍での開催であり、多くの課題に直面しながらも、関係者と協力しあい、最後

まであきらめず、目標へと向かう大切さを学びました。

### 仕事のやりがいは何ですか？

参加する高校生の皆さんが、このフェスティバルを目標に日々精一杯取り組み、イベントを終えた後、「今後も伝統文化の取組を続けたい、後輩にもつなげていきたい」と言う声を聞いたとき、次世代へとつながる取組に携わることができたと実感し、やりがいを感じました。

### 休日や退庁後の過ごし方は？

府庁サッカー部に所属し、月に1回は練習や試合で汗を流しています。

### 現在の仕事を通じて、京都府をどのようにしていきたいですか？

京都の歴史の中で育まれた地域の伝統文化、新たに創造される文化活動の維持・継続、そして発展へと貢献したいと思います。

特に、伝統文化に馴染みが少ない若い世代に向けた「きっかけ」づくりを行ってきたいと思います。



### 渡邊 一蔵

平成26年度入庁  
平成26年10月 産業労働総務課 企画・地域戦略担当  
平成30年 6月 文化芸術課 文化の人づくり係 現在



### 令和2年度 全国高校生 伝統文化 フェスティバル

京都府の  
文化・スポーツ

